

新潟県 P T A

No.118

発行 新潟県小中学校PTA連合会
編集 広報委員会
 〒950-0965
 新潟市中央区新光町7番地2
 新潟県商工会館5階
Mail ngknpata@coral.ocn.ne.jp
 ホームページもぜひご覧ください!
 新潟県PTA連合会

目次

- 1面 新潟県P研究大会(小千谷大会 報告1)
- 2面 新潟県P研究大会(小千谷大会 報告2)
講演会、パネルディスカッション
県P連って何してるの?
- 3面 組織検討委員会研修会
「ポジティブに行こう♪
これからのPTA活動♪」
- 4面 教育問題委員会研修会
「部活動の地域移行について考える」
- 5面 広報委員会活動報告
広報紙コンクール案内
広報紙セミナー案内
- 6面 県教育庁いじめ対策室より
「子どもの成長のために大人ができること」
各郡市P連自慢の「特色ある単位PTAの活動」
- 7面 日P三行詩コンクール入賞作品
県P連三行詩コンクール入賞者
年次表彰(日本PTA・文科省)
- 8面 小・中学生総合補償制度(加入のすすめ)

第63回新潟県小中学校PTA研究大会 小千谷大会

考えよう 持続可能な意義あるPTA活動

〜未来の会員のために〜



新潟県小中学校
PTA連合会
会長
宮下 あさみ

私は、PTAは無くなってはいけ
ない存在、形を無くしてはいけないと
常々考えています。PTAは保護者と
学校の双方を繋ぎ、地域を繋ぐ大切な
架け橋だからです。子どもたちのため
に活動しているのがPTAだと思いま
す。

ところが、最近では、役員決めや負
担軽減のためのPTA活動の見直しな
ど、PTAを巡って様々なことが問題
になってきています。

このような状況の中、第63回新潟県
小中学校PTA研究大会 小千谷大会
が開催されました。今大会の主題は、
「考えよう 持続可能な意義あるPT
A活動〜未来の会員のために〜」です。
今年、例年とは違った視点で開催さ
れました。

私たちがとって考え方が変わるよう
なお話がつりつり詰まった講演会やパ
ネルディスカッションを聞くことがで
きました。是非これからの参考にしてい
ただきたいと思えます。

私は、大会実行委員長の山田会長と
話を聞いて、考えさせられ、強く心
に響いた言葉があります。「今だけ
ではなく、これからの見据えて、後世の
人たちのために今、変えられる時に
変えよう。変えようと思った人が今も、
もちろん、そして今後のこれからのP
TA役員をやっていく人たちにとつて
も負担が少なく、やっていくことので
きる形に作り上げてあげたい。今後
もっと大変になる人たちに負担がか
からないPTA活動をしたいと思いま
せんか。」という話をしてくれました。聞
いて強く心を打たれました。今、そ
して未来に向けたヒントを、この大会
をもって学び、参考にさせていただき
たいと強く思います。必ず参考になるは
ずです。

最後に、一年以上にわたり、この研
究大会の開催に向けてご尽力いただき
ました小千谷市PTA連合会大会実行
委員の皆様方に深く敬意を表すると
もに、心より感謝を申し上げます。

開会のあいさつ



小千谷大会
実行委員長
山田 一郎

小千谷大会への参加に感謝申し上げ
ます。本大会の内容が今後の活動の一
助となれば幸いです。

大会テーマ「未来の会員のために」
に基づき、講師やパネリストのプロ
フィールは詳細に記録し、大会内容
はYouTubeで無期限配信、大会報
告書はデジタル化して公開します。未
来のために資料を残すことを重視し
ています。

保護者は子どもの卒業とともにPT
Aを離れますが、教員はPTA活動が
ある限り関与し続けるため、より良い
環境の整備が求められます。保護者は
役員期間が短く、改革に消極的な場合
もありますが、過剰な配慮は不要で、
むしろ改革を望む声も存在します。

PTAは、「保護者と教員が共通の
目的のもと、時代に即したより良い学
校教育環境を対話と協働によって創造
する組織」です。保護者と教員のいま
で以上により良い関係が構築され、子
どもたちにとって理想的な教育環境が
整っていきますことをご祈念申し上
げ、感謝を添え、一つの問いを残して、
あいさつを終わります。

皆様、県P連の存在意義は何だと
思いますか?
本日は本当にありがとうございました。

ご当地
キャラクター
よし太くん



受付



開会式



県P表彰



次回開催地への引継(小千谷→妙高へ)



開会の言葉
森本実行副委員長



参加者(開会式)



大会実行委員長 御礼の言葉



大会関係者一同

第63回新潟県小中学校PTA研究大会 小千谷大会

記念講演

ここから生まれっ！PTA新時代！！

これからの公教育が求める学校と保護者の役割

パネルディスカッション PTA改革の実践者に訊く 教えて！お悩み解決策！！

開催にあたり 大会実行委員長 山田 一郎

子どもたちのより良い成長は、保護者、教職員共通の願いです。しかし、様々な事情から双方が協働する組織を解散する現実が全国各地にあります。共通の願いを持つ者同士だからこそ、それぞれの立場を活かし、価値ある協働組織として後世に受け継ぐ必要があります。このような思いから、PTAの在り方を再確認、再発見し、未来に向けた改革へのヒントを共有できる研究大会を実施することにしました。

新潟県内各地(新潟市内を除く)PTAの組織運営について現状調査の結果をもとに、課題解決のヒントを共有するパネルディスカッションを開催しました。大会テーマは「持続可能な意義あるPTA活動」であり、記念講演では「PTAのトリセツ」の著者からPTAの存在意義、存在目的についてお話しいただきました。

記念講演

講師



福本 靖 様
(神戸市立本多間中学校
元校長)



今関 明子 様
(神戸市立本多間中学校
元PTA会長)



パネルディスカッション

ファシリテーター



今関 明子 様
(神戸市立本多間中学校
元PTA会長)

パネリスト



福本 靖 様
(神戸市立本多間中学校
元校長)



岩崎 智 様
(糸魚川市立糸魚川東中学校
元PTA会長)



武藤 愛美 様
(伊勢崎市立名和小学校
現PTA会長)



山田 祐輔 様
(柏崎市立新道小学校
元PTA副会長)



詳細は、新潟県小中学校PTA連合会ホームページをご覧ください。

県P連 って何してるの？ ～実はよく知らない県P連のコト～

人をつなぎ、活動を支援しています！！

1 国・県・教育委員会等への意見・要望の集約や提案

- 30人以下学級の実現等の嘆願署名
「県立高校の将来構想」「いじめ問題対策」「子ども・子育て支援」「部活動改革」 など
- 日本PTAを通じて
義務教育定数改善緊急要望書(1学級40人→35人へ)
義務教育費国庫負担制度維持嘆願署名

2 郡市P連や単位PTAへの支援・助成

- (一社)県PTA安全互助会への運営参画・要望
PTA活動補償制度、小・中学生総合補償制度の設計
郡市P連へ集金事務手数料の分配(R6年度 約386万円)
郡市P連・単位PTAへの安全普及啓発活動等助成金
郡市P連 各5万円 単位PTA 各2万円
- 郡市P連研究推進事業費
郡市P連 各5万円

3 災害・緊急時の対応・支援

- 災害時の被災状況・見舞金等取りまとめ・窓口
中越地震、中越沖地震、東日本大震災
糸魚川大火、能登半島地震、豪雨災害 など
- 災害見舞金制度
基準により 一人あたり1～5万円



4 最新・有益情報 及び 研修機会の提供

- 国・文科省・県からの情報
- 県P・関東ブロック・日本PTA等の研究大会、広報紙セミナー

5 PTA・教育関係等の活動の紹介・表彰など

- 広報紙コンクール・三行詩コンクール・優良PTAの表彰
- 県P広報紙・県P研究大会・関東ブロック研究大会等で紹介

◎ PTA活動等で困った時はご相談ください。
連絡先は県P連ホームページをご覧ください。



講演概要

ポジティブに行こう♪ これからのPTA活動♪

講師
PTA'S(ピータス)代表
増島 佐和子 様



県P連 組織検討委員会研修会

ポジティブに 考えるPTA

組織検討委員長 小林 隆浩

PTAの役割、必要性、効率化など、ここ数年よく耳にします。また、PTAのアンケートを見比べても同じ内容の課題がよくあがっています。役員選考、組織や活動への疑問等です。PTAを存続させるにはこの問題を一

つひとつ解決していく方法しかありません。しかし、様々な実例を聞いても、ピンと来ないことが多いことも事実です。それは、時々の会長のやり方や役員、学校の状態など環境が違うからだと考えます。PTAが好きな人たちが集まり、話し合いをして解決案をだしてもそれが正しいのか、苦手なものを好きにさせるには難しいと思います。そこで、組織検討委員会では、効率化に重点をおいた講演内容にしました。人も少ない、休みも取りづらい時代です。これからのPTAのひとつの在り方として皆さまにとって何かのきっかけになれば幸いです。子どもたちのために、そして、シンプルにポジティブにPTAを考えていきたいと思えます。

研修の目的

PTAにポジティブな視点を持ち、効率的に楽しく運営できる方法を事例を通して学ぶ

1 PTA'S (ピータス)とは

- ・ピータスの“タス”は、「PTAを助ける」「PTAに企業(プロ)の知恵と技術を足す」という意味
- ・PTA業務のアウトソーシングサポートをはじめ、企業と協業したPTA向けサービスの開発、PTAに欠かせない情報発信など、PTAのあらゆる困り事をワンストップで解決する、専用支援サービス

2 PTAに対するネガティブなイメージとその背景

○コロナ前とコロナ後のPTAについて

【ディスカッション①】

- PTAで感じる個人的な負担や改善したいと思っていることは？
- ★活動の時間帯、開催曜日、教員との連携、参加者のモチベーション、参加者の理解 など
- PTAに対する不満や課題
- 保護者のライフスタイルの変化
- 「PTA不要論」の広がり
 - ・よそのPTAは関係ない！ 向き合うべきは自校PTA
- PTAがなくても…
 - ・新しい組織を立ち上げる手間をかけるなら、今あるPTAをよりよくする工夫をしては？

3 PTAの役割とその重要性

- そもそもPTAとは
 - ・目的は「子どもたちの学校生活のサポート」
- 保護者のサポートはなぜ必要か
 - ・子どもたちの、安心安全で豊かな学校生活
- ポジティブな事例①：PTAの挑戦が学校を後押し
 - ・コロナ禍の一斉休校時に開催 → 学校のオンライン化が加速
- ポジティブな事例②：PTAが学校と保護者のハブに
 - ・PTA内に外国人保護者サポートサークル発足 → 交流・理解促進、孤独解消
- ポジティブな事例③：PTAが学校と地域のハブに
 - ・地域を巻き込んだ、PTA主催のお祭り開催 → 新興住宅地に“地域”創出

4 効率化や保護者負担軽減のための解決策

- 考え方
保護者の限られた時間・労力を、適性に配分 → 物理的・心理的負担の軽減

- アウトソーシングの活用事例
 - ・行事サポートを警備会社やイベント会社に依頼
 - ・PTA向けサービス(PTA'Sで書記代行)を導入 < [二次元コード\(書記代行\)](#) >
 - ・安全マップをデザイナーに依頼、危険箇所のヒアリングは保護者 < [二次元コード\(安全マップ\)](#) >
 - ・出張授業等イベントを企画、講師選定や交渉・運営はイベント会社に依頼 < [二次元コード\(性教育、講師選定\)](#) >
 - ・旗当番シフト作成ツール：ツール開発は、システム会社へ依頼 < [二次元コード\(旗当番\)](#) >
 - ・PTA向けツール(サービス)を導入 < [二次元コード\(アプリパック\)](#)、[\(PTAWi-Fi\)](#) >

【ディスカッション②】

- 自分たちのPTAで、何をどう活用できそう？ 活用したい？

5 効率化や保護者負担軽減を越えた、その先のPTAについて

- ・PTAだからこそできること
- ・PTA用「旗当番シフト作成ツール」を面談調整ツールに < [二次元コード\(面談シフト\)](#) >
- ・IoTサービスを導入 < [二次元コード\(IoT見守り\)](#) >

【ディスカッション③】

- 前例踏襲ではなく、自分たちのPTAがこれからやりたいこと、やってみたいことは？
事例：お金がないので、地域から寄付を募って、ふるさと納税で…

6 ポジティブなPTAであるための取り組み

- 新しい取り組みを行う前に① < [二次元コード\(調べて教えて\)](#) >
 - ・PTA会費は自分の子どもに払っているのではない。その年度に在籍している児童生徒に対して親が払っている。親の加入、非加入で差を付けるのはおかしい。
- PTAよくあるご相談② < [二次元コード\(よくある相談\)](#) >
- ピータスYouTube③
- その年度のメンバーで対話を
 - ・対話により新しい発見や新たな工夫、参考になることが多々ある
 - ・情報交換と情報共有により、何が課題で、何ができるかが明らかになってくる

※文中< [二次元コード〇〇〇](#) >は、動画配信で確認できます

講演の内容やPTA'Sについて詳しいことを知りたい方は [PTA'S\(ピータス\)](#) [検索](#)



参加者の感想や意見

- PTA支援のためのシステム・サービスがたくさんあることが分かった。有効に使えると、今、負担となっていることも解決できるであろう。
- ボランティア団体であっても全てをやるのではなく、アウトソーシングも有効な手段であるということを知った。
- 興味深い話ばかりで、同じ形で当校でも講演をしていただきたい。
- 何事も「前向きに」話をする、聞くことが、組織をよくしていくことと思った。
- デジタル利用による効率化のお話が多かった。それはそれで参考になったが、それなりの人員と環境が必要。アナログな精神論的なお話ももう少しあるとよかった。様々な他PTAの事例を知ることのできるPTA'Sサイトを知ることができ助かった。
- 役員決めを変えたいというのに関わらずヒントをもらえたらと思って楽しみにしていたので、全ての内容がピータスの中にあるという情報を知ることができてよかった。
- 各学校によって課題が違い、客観的に自校の善し悪しを感じることができた。
- 今現在、持続可能なPTAになっていくための改革を進めていますが、非常に参考になるお話が聞けました。ありがとうございました。
- 同じようなグループワークを用いた研修を、当単Pでも実施出来たら良いな、と感じます。
- やはり、予算ありきで大人は考えてしまいますが、思考の変換も必要で、凝り固まったところを柔らかくしていただけました。



※講演の詳細は新潟県小中学校PTA連合会ホームページにて動画配信中

講演概要

新潟県の休日の部活動の地域移行について

講師：新潟県教育庁保健体育課 副参事 桑原 文博 様



1 なぜ、部活動の地域移行を進める必要があるか

- ・本県の15歳人口の推移
- ・どうして部活動改革を進めるのか → 全国で深刻な少子化
- ・学校部活動(学校教育の一部) → 休日の地域クラブ活動へ学校と連携して

2 新潟県のこれまでの取組と進捗状況

- ・令和2年度から部活動改革検討委員会で地域移行について議論をスタート
- ・令和3・4年度国のモデル事業の実施
- ・令和5年度国の実証事業の実施
- ・県P連広報紙への掲載(広報紙第112号、第116号への掲載)
- ・新潟県における休日の部活動の段階的な移行
 - ・令和5年度から令和7年度までの3年間に休日の部活動の段階的な地域移行が完了する。
 - ・地域移行完了後は原則休日の部活動は行わないこととする。



3 市町村の取組内容と課題

- ・本県市町村の取組内容(長岡市、村上市、佐渡市、魚沼市、柏崎市・刈羽村合同 など)
- ・本県市町村の課題(指導者確保、財源確保、移動手段確保、普及啓発 など)
- ・指導者確保のための人材バンクの設置

4 誰のための地域移行なのか

- ・児童生徒のニーズや声を反映させる。

県P連ホームページから資料をダウンロードできます

どうなる中学校部活動 部活動の地域移行に向けた現状と課題

講師：新潟県小中学校PTA連合会 元会長 板倉 久徳 様



1 皆さんの地域や学校の部活動が今後どうなるか？

- ・地域移行のメリットとデメリット
- ・今後の流れは地域によって様々、学校から部活動がなくなる地域も

2 行政・学校・教職員・保護者・生徒・PTAの状況は？

- ・行政：環境整備や活動支援
- ・学校・教職員：少子化で部員確保が困難、教職員の負担
- ・保護者：「部活がなくなる」ことをあまり問題視していない
- ・生徒：学校にあるからやっているが、校外ではやらなくともよい
- ・PTA：学校での説明会、県P連研修会等で情報収集と今後の対応



3 県内各地の様子

- ・新発田市、新潟市、燕市、村上市、長岡市、胎内市の状況説明

4 地域移行のケース

- ・ケース1：顧問の先生が兼職兼業届を出して、ほぼ今までのように指導
- ・ケース2：地域の指導者が顧問の先生の代わりに指導
- ・ケース3：学校単位ではなく、地域の団体(チーム)で活動

5 地域移行に伴う様々な問題

- ・費用の問題：基本は受益者負担(備品、消耗品、借用費、謝金、保険 など)
- ・備品の問題：保護者負担のみでは環境整備は困難
- ・指導者問題：教職員は働き方改革から難、学校部活動の趣旨に沿った指導者難
- ・活動場所の問題：運動部は学校開放で可能だが、文化部は教室等の利用は学校管理面で難

6 学校から部活動が消えると

- 部活動を学校から切り離さず、可能な限り現状のような活動が学校でできるようにする。
- 一方、クラブチームのように専門性を極めたい生徒の活動場所の整備も必要である。

7 PTAとして何が出来るか？

- ・単位PTA、都市PTA、県P連としてみんなで考え、そして知恵を出しあうとき：PTAは大切な組織であり、なくてはならない組織
- ・日Pは国を動かせるか？
- ・部活動改革は「子どもたちの未来が幸せなものになってほしい」と願っている。

県P連 教育問題委員会研修会 「部活動の地域移行について考える」

教育問題委員長 松野 幸博

令和6年11月23日に教育問題委員会研修会を開催しました。
 今回は保護者が普段不安に感じていることをテーマに取り上げようと考え、直前に迫っている部活動の地域移行についての研修会を開催しました。
 研修会を開催するにあたり、事前に教育問題委員によるそれぞれの中学校に、部活動地域移行に際し、現状どのように取り組んでいるかについての聞き取り調査を行いました。
 調査内容は、以下の4点です。

- ① 地域移行に向けてどのように取り組んでいるか
 - ② 取組を進める上で問題点はないか
 - ③ 行政に要望はあるか
 - ④ PTAに要望はあるか
- 主な回答として、次のようなものがありました。
- ① すでに取り組んでいる、またはクラブチームとして参加している。
 - ② 指導員の確保、練習場所への移動手段
 - ③ 金銭面での援助、外部指導者の紹介、交通手段の確保
 - ④ 経済的負担への理解、練習場所へ送迎の協力

当日は、県教育庁保健体育課 桑原 文博 様と新潟県P連 元会長 板倉 久徳 様よりご講演いただきました。左記「講演概要」をご覧ください。
 講演終了後に各グループに分かれ、部活動地域移行への意見、課題、解決策について討議しました。下記の内容をご覧ください。
 部活動の地域移行については、未知の部分も多く、生徒や保護者も不安になるのは否めないかと思えます。しかし、今までは違った形で様々な部活動を経験できるチャンスでもあります。今後はスポーツだけではなく、地域に古くから伝わる伝統文化なども部活の選択肢として考えることもできるかもしれません。過去のやり方ではこれまで経験できなかったことも経験できるようにする、そんな可能性が部活動の地域移行に秘められているのではないかと感じています。

部活動の地域移行について考える

見えてきた課題と今後の対応

グループ1

- ・子どもの心のケアができるのか、部活動をしなくなる。
- ・PTAにできること：指導者と別にPTA役員、PTA会員で力を合わせ、子どものケアをしましょう。
- ・入学時に中学校部活として入部するが、部活の中心は地域クラブとなることのギャップ。
- ・PTAとして、保護者としての登録とは別に、見守りとして登録することができるのでサポートができるのではないかと。子どもの不安がある方は一緒に入ることで安心に繋がる。
- ・部活動(平日)教員とクラブコーチ、外部コーチとの指導による生徒のギャップ。異なる指導をされた時どうするか。
- ・教員と指導者(民間)との連携があるのか？ 全くなくうまくいくのか？

グループ2

- ・費用問題
- ・保護者の負担(費用、送迎など)
- ・完全移行したときの受益者負担はどうなるの？
- ・移動手段はどうする？ 保護者の送迎で事故が起きたらどうしよう？
- ・クラブや習いごとと、部活動は考え方が違うことをそもそも理解していない。
- ・「教育」という視点で、地域クラブは見ないの？
- ・PTAとしてどう関わる？
- ・勝利<人間性 ほどこまでが建前？ 本音は？ 指導者も迷う？
- ・指導者の質をどうやって見極める？(経験、人間性)

- ・平日のみの参加でOK？ 大会へのエントリーは？
- ・子どものやりたいことができなかつたら、できるように整備してくれる？

グループ3

- ・郊外に住む人たちの交通手段
- ・市の外れ同士の活動でも移動困難
- ・冬期間は雪による困難さあり

グループ4

- (1) 地域移行の課題・問題点
 - ・県や市の助成、補助体制
 - ・保護者の経済的な負担、時間や労力 負担増
 - ・指導者への謝礼が少なすぎる、持続可能性がない。
 - ・コーチ資格が必要。しかも指導者は実費で取得
 - ・指導者の平日の時間確保、経済的に困難
- (2) 提案
 - ・指導者と保護者、県と市がWin Winになれるシステム、マネーフローの構築
 - ・新潟県の教育費比率のアップ

グループ5

- 生徒目線で考え、生徒が活動しやすい環境を
- ・最大のメリットは小規模校の生徒が自分のやりたい部活を選択できる
 - ・市町村単位で考えず、近隣の市町村を含めた、地域の枠を撤廃した地域移行を望む
 - ・部活動の場所の確保とその移動手段
 - ・平日の指導者が休日の指導者も可能かどうか。一貫した指導体制。

- ・「学校の部活動とは何か」何のために、何を目的として存在するか。全て地域クラブでよいという保護者の声が出てきそうである。
- ・現状でも学校に入りたくない種目がない子どもは、クラブチームに入らざるを得ない。



広報委員会 活動報告

広報委員長 岩片 満

今年度の広報委員会では、「会員が読みたいと思える記事、レイアウトの広報紙作成」と、「単位PTAの参考となる情報提供」を旨とし、委員会での意見交換のほか、LINEグループを活用したオンラインでの協議を重ねてきました。広報紙第117号では、県PTA広報紙コンクールの入賞作紹介、日本PTA全国研究大会川崎大会の報告など、写真を多めに、かつ、レイアウトの色づかいにも配慮し、手に取った会員の皆さんから、少しでも興味を持っていただける紙面となるよう意識しました。

また、能登半島地震支援で日本PTA全国協議会が行った募金活動に対し、県内から寄せられた支援募金の状況、さらに、その募金から被災地である当県P連に配分された支援金額とその用途についても会員の皆様に報告をいたしました。全国から寄せられた支援の大きさとともに、PTAという組織の役割を感じていただけたのではないかと考えています。

第118号では、新潟県小中学校PTA研究大会小千谷大会の記事を1面、2面に使い、大きく取り上げました。PTAが直面する課題と、求められる役割をテーマとした講演会、PTA改革を進めてきた方々の実践例に学ぶパネルディスカッションの様子など、研究会に参加できなかった方にも会場の雰囲気をお伝えできるように努めました。研究会の様子は県P連ホームページで動画配信されており、視聴の案内も掲載しております。ぜひ、動画もご視聴いただければと思います。

広報紙コンクールについては、紙媒体からWEB上での閲覧に切り替える単位PTAが増加しているという全国的な流れから、WEB版での応募も受け付けております。WEBで広報を配信しているPTAの多くは、会員のみが閲覧可能としていることから、応募につながりにくいという課題があり、継続して検討していかなければと考えております。

最後に、広報の原稿依頼に快くご協力いただいた皆様と、委員会の場だけでなく、お忙しい時間を縫ってオンラインで意見を寄せてくれた広報委員の皆様には感謝を申し上げます。

第23回 新潟県PTA広報紙コンクールのご案内 広報委員会

県P連では、PTA広報活動の活性化を目的に、新潟県小中学校PTA連合会加入の小・中学校等で発行するPTA広報紙を対象に、広報紙コンクールを開催いたします。是非、応募ください。

1 応募方法

令和6年4月から令和7年3月までに発行された単位PTA広報紙のすべての号をセットにして、各2部を県P連事務局に送付してください。

2 応募締切

令和7年3月31日(月)県P連事務局 必着

3 審査方法

- (1)第1次審査は、県P連広報委員が担当し、入賞作品を選考します。
- (2)第2次審査は、新潟日报社、県P連会長・副会長・広報委員長・事務局長で担当し、最優秀賞、企画賞、写真賞、レイアウト賞、佳作、WEB版特別賞、その他を決定します。

4 審査基準

日本PTA全国協議会広報紙コンクールの審査基準を参考に、PTA広報紙のもつ目的・使命・記事・編集・レイアウト・企画・写真・見出し文などを総合的に審査します。

募集要件がありますので、詳しくは、2月上旬に各都市P連事務局を通じて各単位PTAに配信された実施要項及び県P連ホームページをご覧ください。問い合わせは、県P連事務局へ

広報紙第117号より

第22回 新潟県PTA広報紙コンクール入賞PTA



中学校の部
最優秀賞

糸魚川市立糸魚川中学校PTA

大変光栄な賞をいただき、ありがとうございました。

前PTA会長
中林 友幸



小学校の部
最優秀賞

胎内市立中条小学校PTA

今期も「つばさっ子」の生き活きとした表情を発信していきます。

広報部長
佐久間 純

令和7年度 「PTA広報紙セミナー」 開催のお知らせ 広報委員会

県P連では、毎年、各単位PTAで作成している広報紙のより一層の向上を目的とした「PTA広報紙セミナー」を開催しています。新潟日报社より専門の講師を招いて、直接指導いただけるセミナーとして講評を博しております。

広報委員会では、令和7年度も開催方法を一部変更して、PTA広報紙セミナーを開催しますので事前にお知らせをいたします。

- 1 主催 新潟県小中学校PTA連合会
- 2 主管 長岡市出雲崎町小中学校PTA連合会
- 3 開催日 令和7年6月7日(土)
- 4 会場 長岡市中央公民館大ホール
- 5 講師 新潟日报社より広報紙に関わる専門講師
- 6 参加方法 会場への直接参加またはオンラインによる参加

令和6年度 広報紙セミナーの取組報告

新発田会場 (新発田市小・中学校PTA連合会)

今年度の広報紙セミナーは、6月2日(日)13:30より新発田市生涯学習センターで実施した。講師は新潟日報新発田総局長 阿部 慎一 様、参加者は各校広報部部長や教頭先生が主であった。

演題は「読者が読みたくなる紙面づくり」で、2部構成で行われた。第1部は読者が読みたくなる紙面になるようなレイアウトや見出しの工夫などについてご教示いただいた。第2部では各校の広報紙を1つずつ取り上げ、長所や改善点をコメントしていただき、参加者は、いかにして自校の紙面に生かすかについて考えた。

参加者からは「他校の広報紙がとても参考になった。」「グループワークで他校と意見交換できるのが非常に有意義であった。」等の声が聞かれ、広報紙作成、改善のアイデアを得る貴重な機会となった。

参加者の声

- ・事前に送付したPTA広報紙をもとに、コメントいただき、広報紙づくりの具体について理解することができた。
- ・様々な学校の広報紙を見合い、話し合うことで、自校の広報紙づくりに生かすことができた。

糸魚川会場の参加者の声

- ・講師の方から「読みたくなる記事と書き方」というテーマでお話をいただいた。キーワードと深掘りすることが大切だと分かった。
- ・互いの広報紙を見合うことで、和気あいあいとワークショップを進めることができた。また、各校の広報紙それぞれに工夫やアイデアがあり、参考になった。

柏崎会場の参加者の声

- ・他校の広報紙を見ることができ、勉強になった。お褒めの言葉や改善点を和気あいあいと話すことができ、とてもよい会であった。学校によって内容が大きく違っていった。新潟日報の講師の話は大変参考になった。「広報紙」は誰に向けて、誰のために書いているのか。また、地域の人にも読まれていることに改めて気付かされた。
- ・他の学校の広報紙を見ることができ、とても勉強になった。今日、学んだことを広報の会議でも出して皆さんと楽しく読んでいただける広報紙をつくりたいと思った。ワークショップもとても楽しかった。

「子どもの成長のために大人ができること」

新潟県教育庁生徒指導課 いじめ対策室長 高松 利治

～子どもにA・Bのどちらを言いますか？～

3 友だちからSNSで嫌なことを書かれたんだ

A 気にしなきゃいいじゃん 気になるなら、やり返せ

B そうだったんだね。嫌だったね。これからどうしたいかな？

2 友だちに悪口を言って、先生から叱られちゃった

A いじめはダメでしょ。どうしようもないな

B そうなの。先生に叱られて、どんな気持ちだった？

1 学校に行きたくないな

A 何言ってるの。行かなきゃダメ。みんな行ってるでしょ

B そうなの。何かあったのかな？ どうしたい？

5 明日のテストいやだな

A だから、いつも「やれ」って言うてるのに、やらないからでしょ

B 大変だね。どの科目が大変？話をきくよ。どうしようか？

4 死んでしまいたいな

A 死にたいなんて言っちゃダメ いつか生きてよかったと思うから

B 辛い気持ちを教えてくれてありがとう。どういうときにそう思うのかな？

	A	B	参考	二次元コード
1	大人の気持ちを一方的に伝えている。	子どもの思いを受け止め、積極的に関わっている。	NITS参考動画→ 不登校対策リーフレット	
2	人格を否定し、背景を聴いていない。		いじめ対応総合マニュアル	
3	子どもの気持ちを確認していない。		SNS教育プログラム	
4	子どもの辛さに寄り添っていない。		SOSの出し方教育	
5	叱られても、やる気は出ない。		各種相談窓口	

↓新潟県いじめ対策ポータル



いじめ見逃しゼロ 県民運動

24時間子供SOSダイヤル

フリーダイヤル なやみ言おう (通話料がかかります)
0120-0-78310 または 025-285-1212

新潟県いじめ・不登校相談メール

ijime@mail soudan.org



各郡市P連自慢の「特色ある単位PTAの活動」を紹介します

郡市PTA連合会(連絡協議会)の「特色ある単位PTAの活動」などを紹介いたします。今後の活動の参考に、一読をお願いいたします。

毎日笑顔で送ろう、夢と意志を持つ大切さ
三条市PTA連合会

本年度の三条市PTA連合会は、「笑顔」をテーマに活動をスタートしました。コロナ禍によって子どもたちの生活は直接的な繋がりが断たれ、オンラインや動画など二次元の世界へ追いやられてしまいました。その二次元の世界から抜け出し、親子や友だちと一緒に大笑いできる機会を届けたいと考え、YouTubeで再ブレイク中の「小島よしおさん」をお招きし、12月14日(土)大崎学園を会場に講演会を行いました。市内小中学校PTAと連携したことで参加者は900人を超えました。お馴染みのネタでは会場中が笑いに包まれ、トークショーでは「夢と意志を持つ大切さ」を子どもたちに伝えることができ、大成功で終えることができました。



持続可能なPTAを目指して
妙高市小中学校PTA連合会

「妙高市立新井中学校父母と教師の会」
妙高市立新井中学校父母と教師の会では、持続可能なPTAを目指し、令和5年度に組織体制の大幅な見直しを行いました。これまで設置されていた4つの専門部会を廃止し、役員数を従来の半分程度とし、組織のスリム化を図りました。役員数は減りましたが、子どもたちの学習や活動の質を落とすことがないよう、役員が協力、工夫し活動しています。体育祭や音楽祭の運営支援のほか、教養講座、拡大CSなどにあたっては、少ない役員数であるからこそできる活動を心掛けています。



講演会「育ちたい!を支える子育て」
新発田市小・中学校PTA連合会

「新発田市立二葉小学校PTA」
今年度、二葉小学校ではPTA主催で元看護師の自然調和医療学講師である井上真由美様をお招きし「育ちたい!を支える子育て」という演題で講演会を計画し、実施しました。講演会当日には、60名余りの参加者の出席がありました。



学校のきまりを考える
見附市PTA連合会

「見附市立南中学校PTA」
当校では、「見附子育て教育の日」に「学校のきまりを考える会」を開きました。全校生徒が15グループに分かれ、髪型と服装について話し合い、PTAもオプザーバーとして各班の子どもたちの意見を聞いたり、保護者の立場からの話をしたりしました。初めての試みで、改善点もいくつかありましたが、保護者から「アイデアを作り出したり、仕組みを生み出したりしていくことには、コミュニケーション能力は欠かせない。可能性を引き出してあげることが当たり前の価値観を変える取り組みへ繋がることが、求められているのではないかと感じた。」「自分たちは学校側に決められた校則を守っていたが、生徒ひとりひとりが意見をを出していることに感心した。」など多くの意見がありました。



令和6年度 日本PTA「楽しい子育て全国キャンペーン」8年連続入賞

三行詩コンクール入賞おめでとう

～家庭で話そう！ 家族のきずな・我が家のルール・命の大切さ～

一般の部 佳作
魚沼市立小出中学校 広井 義人さん

「倒れるまで頑張れろ!!」
「おじいちゃん、それ昭和。」
「できるまで頑張れろ!!」
お母さん、それ平成。
令和は「悔いなく頑張れよ」
でいいですよ。

小学生の部 佳作
南魚沼市立後山小学校 4年 井口 みのりさん

家族でお話するって楽しいな
学校、友だちのこと
なんでも聞いてくれる大好きな家族

中学生の部 「早寝早起き朝ごはん」 全国協議会会長賞
長岡市立青葉台中学校 2年 宮下 音奏さん



イラスト：漫画家 青沼貴子

小学生の部 文部科学大臣賞
田上町立羽生田小学校 2年 小日向 礼さん

「納得いくまで
向きあったんだなあ」
机に残った消しカスは
頑張った証



イラスト：漫画家 青沼貴子

毎年日本PTAでは、都市化や核家族化、少子化など、子育てや家庭教育を支える地域の環境が変化中、改めて家族の会話やコミュニケーションから生まれるきずな・家庭のルール、「早寝早起き朝ごはん」といった子どもたちの基本的な生活習慣づくりなど、家庭教育の大切さや命の大切さについて、家族で話し合い一緒に取り組むことを社会全体に呼びかけていくため、「楽しい子育てキャンペーン 三行詩コンクール」を行っています。

新潟県では平成29年度から8年連続上位入賞の快挙となりました。

応募総数 83,461作品 (上位入賞)

- 小学生の部 46,249作品
- 中学生の部 33,431作品
- 一般の部 3,781作品

(佳作) 5作品

- 文部科学大臣賞
- 内閣府特命担当大臣賞
- 「早寝早起き朝ごはん」全国協議会会長賞
- 日本PTA全国協議会会長賞

令和6年度 新潟県三行詩コンクール 入賞者

小学生の部 最優秀賞
田上町立羽生田小学校 小日向 礼

げんかんでママとパパ
ろうかのまどに
おじいちゃん
2かいのまどから
おばあちゃん
あっちこっちに手をふって
「いってきます!」

中学生の部 最優秀賞
魚沼市立小出中学校 小林 千晴

ばんばんの押し入れ
片付けてって
言われるけど…
ばんばんの思い出
捨てるものは
ひとつもない

一般の部 最優秀賞
南魚沼市立後山小学校 井口 英幸

「納得いくまで
向きあったんだなあ」
机に残った消しカスは
頑張った証

部	学校名	学年	氏名
小学生	田上町立羽生田小学校	2	小日向 礼
	田上町立羽生田小学校	6	中丸 花穂
	田上町立田上小学校	5	佐藤 礼奈
	田上町立羽生田小学校	4	畠山 和華
	南魚沼市立後山小学校	4	井口みのり

部	学校名	学年	氏名
中学生	魚沼市立小出中学校	3	小林 千晴
	田上町立田上中学校	3	五十嵐想真
	魚沼市立小出中学校	3	橘 勇斗
	長岡市立青葉台中学校	2	宮下 音奏
	魚沼市立小出中学校	1	高橋 杏

部	学校名	氏名
一般	南魚沼市立後山小学校	井口 英幸
	魚沼市立小出中学校	井口かおり
	長岡市立青葉台中学校	宮下 学
	魚沼市立小出中学校	広井 義人
	田上町立羽生田小学校	木村ひかり

令和7年度 三行詩コンクールの募集についてのお知らせ

公益社団法人日本PTA全国協議会より「三行詩募集のお知らせ」が届き次第(昨年は4月中旬)、県P連HPに「三行詩募集ちらし」をアップしますので、ご利用ください。
単位PTAでの取りまとめが難しい場合は、個人で県P連に直接応募することも可能です。

編集後記

県P研究大会小千谷大会は、PTAが直面している課題と、持続可能な組織であるためにどう進んでいくべきなのか、大会参加者、動画視聴者に多くのヒントを与えてくれた大会でした。PTAを解散する学校の話題も耳にする昨今、あらためてPTAが果たす役割を保護者と教職員が共有し、子どもたちの健全な成長のために活動していかなければならないと感じています。(広報委員長 岩片 満)

祝 令和6年度 年次表彰・文部科学大臣表彰

毎年PTA活動で優れた業績を有する団体や個人が、新潟県教育委員会や新潟県小中学校PTA連合会から推薦され、表彰されています。今年度は、次の団体・個人の皆様が表彰されました。おめでとうございます。

日本PTA全国協議会 会長表彰

団体	個人
見附市立見附特別支援学校PTA	佐久間 哲平(五泉市立五泉北中学校PTA)
長岡市立神田小学校PTA	石 附 大 昌(前加茂市立加茂小学校PTA)
	羽 鳥 高 史(元十日町市立十日町小学校PTA)
	豊 田 誠(元田上町立田上小学校PTA)

文部科学大臣表彰

とき：令和7年2月28日(金)
ところ：文部科学省東館3階 第一講堂

優良PTA団体
三条市立一ノ木戸小学校PTA

(敬称略)

新潟県小中学校 PTA 連合会・新潟市小中学校 PTA 連合会 会員のみなさまへ

本制度の主な特長

- 最大51%も割安です。**
 月々に換算すると約**250円**~の掛け金で加入することができますので大変お得です！
(プランによって異なります。)
- 新潟県自転車条例の施行による 自転車損害賠償保険への加入義務化に対応しています！**
学校から貸与されるタブレット端末を壊した等の賠償事故も時価額を限度として補償対象となります。
2,000万円から無制限まで補償！(プランによって支払限度額は異なります)
 家族やペットが起こした賠償事故も補償！ ※賠償事故を解決まで、保険のプロがしっかりサポート！
- いじめや SNS での 誹謗中傷からお子様をお守りします**

小・中学生総合補償制度

令和7年度

(団体総合生活保険)

新規加入受付中

適用される割引率

51% 割引



*一部対象とならないプランがございます

学校内・部活動中・通学中・プライベートを問わず**24時間**しっかりサポート

WEB 申込受付締切日

第1次 **令和7年3月31日(月)**

第2次 **令和7年4月30日(水)**

お申し込みは、**スマートフォン・タブレット・パソコンから簡単に手続きできます**

書面でのお手続きも可能です。お問い合わせ先までご連絡ください。

- 制度に関するお問い合わせ先
 一般社団法人新潟県PTA安全互助会
 (取扱幹事代理店 有限会社新潟コーリン)
 〒950-0965
 新潟市中央区新光町7-2 新潟県商工会館 5F
 TEL 025-280-0361
 (受付時間/月曜~金曜 9:00 ~ 17:00)
- 非幹事代理店 よりそう保険コンシェル株式会社

詳細は、1月以降に学校から配布されたパンフレットをご確認ください。

- 【引受幹事保険会社】
 東京海上日動火災保険株式会社
- 【引受非幹事保険会社】
 共栄火災海上保険株式会社
 三井住友海上火災保険株式会社
 損害保険ジャパン株式会社
 A I G 損害保険株式会社



© 新潟県

この広告は団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。